

だいにぎ議会だより



収穫が楽しみです

- 平成21年度予算 87億2,200万円 (2)
- 平成21年度の主な事業 (3)
- 第1回定例会で審議された議案 (4)
- 平成20年度一般会計補正予算・文教厚生委員会・産業建設委員会視察… (5)
- 一般質問に6人が登壇し、町政を問う (6)~(11)
- 人事・表彰・あとかき・その他..... (12)

No.
157
平成21年
4月17日

平成21年度一般会計予算は 87億2,200万円

平成21年 第1回定例会

予算編成に当たって

平成二十一年第一回定例会が、三月三日から十三日までの十一日間の会期で開かれ、一般会計・特別会計予算、人事案件など、町長提出議案四十五件が審議され原案どおり可決しました。

さらに、一般質問では、六人の議員が登壇し、町政全般について質問が展開されました。

本町の財政状況につきましては、財政改革プロジェクトチームによる中期的な財政収支見直しにおいて、人件費や公債費の減少が見込まれることから平成二十一年度以降健全な財政運営を行うことが十分に可能である旨の報告がなされました。しかし人件費や公債費は、減少が見込まれるものの、依然として高い水準で推移するとともに、扶助費や繰出金の増加が見込まれるなど、引き続き厳しい財政状況にあります。

このような厳しい財政状況を踏まえ、平成二十一年度の予算編成に当たっては、集中改革プランに基づいた、職員の定員管理や事務事業の見直しによる歳出縮減を図る一方で、町の活性化のため、町営住宅に住

む子育て世帯に対する家賃の軽減や妊婦健康診査の無料化などに加え、子育て支援の充実を図るとともに、(仮称)大子ふれあい交流センター建設事業や森林機能緊急回復整備事業の推進を中心に福祉の向上や、教育・文化・産業の振興に重点を置き、引き続き読書の町や企業誘致、都市住民との交流を推進するなど、「若者の住むまちづくり」を目標し、事務事業の優先度、緊急度を勘案して、限られた財源の重点的かつ効率的な予算配分に努めました。

この結果、一般会計予算の総額は、八十七億二千二百万円、前年度当初予算額八十五億一千二百万円に比し二億一千万円(2.5パーセント)の増となりました。

平成21年度 各会計予算

会計別		予算額	前年度比較(△減)
一般会計		87億2,200万円	2億1,000万円
特別会計	国民健康保険事業	27億2,281万6千円	8,981万6千円
	老人保健	8,229万4千円	△3億3,704万円
	後期高齢者医療	2億7,098万7千円	1,570万9千円
	介護保険	18億2,579万4千円	4,560万7千円
	介護サービス事業	1,200万7千円	274万1千円
企業会計	浄化槽整備事業	1億5,459万9千円	225万9千円
	下水道事業	1,013万9千円	△1億112万9千円
	水道事業	6億4,882万1千円	△3億631万4千円
総額		144億4,945万7千円	△3億7,835万1千円

次回の定例会

平成二十一年第二回定例会は、六月に予定されております。日程は、

○六月二日(火)開会・提案理由の説明等

○六月三日(水)～七日(日)まで休会で、自宅審議

○六月八日(月)一般質問

○六月九日(火)一般質問

○六月十日(水)逐条審議

○六月十一日(木)逐条審議・閉会

の予定です。

町ではどのような施策を計画されているのか、それに対して、町民の代表である議員がどのような判断をして、発言をしているのかなど、議会傍聴は町政を知る良い機会ですので、お気軽にお出かけください。

誰でも傍聴できますし、手続きは、役場三階の傍聴席で受付簿に住所、氏名等を記入するだけです。



平成21年度の主な事業

◎ 産 業 の 振 興	
森林機能緊急回復整備事業	1億6,334万円
観光施設管理委託料	5,672万円
袋田の滝女性専用トイレ設置工事	1,850万円
身近なみどり整備推進事業	1,280万円
木造住宅建設助成金	750万円
奥久慈大子まつり補助金	700万円
袋田の滝観瀑事務所等設置工事	600万円
周遊観光バス運行事業補助金	413万8千円
◎ 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進	
奥久慈グリーンライン林道整備事業（県営事業負担金）	6,000万円
道路新設改良費（町単独事業）	5,850万円
林道開設改良工事（国補滝沢線、県単八溝線）	5,500万円
移動通信用鉄塔及び無線設備工事	4,200万円
県単土地改良事業（松久保線）	2,004万5千円
橋りょう整備事業（碓石2号橋）	1,000万円
農道緊急整備事業負担金（ふるさと農道）	945万円
駅前ロータリー整備事業	700万円
◎ 生活環境の整備	
浄化槽設置整備事業：150基（特別会計）	1億 950万円
簡易水道建設改良費（水道会計）	435万円
本町地区急傾斜地崩壊対策事業負担金（県営事業負担金）	400万円
◎ 高齢者等の保健、福祉の向上及び増進	
障害者自立支援事業（障害者福祉サービス給付費、その他）	2億7,060万円
児童福祉対策事業（保育児童委託料・だいで保育園、その他）	2億 473万9千円
医療福祉費扶助（乳幼児、妊産婦、母子・父子家庭、重度心身障害者）	1億1,934万8千円
障害者地域生活支援事業	808万5千円
敬老祝事業（77歳以上）	662万円
心身障害者福祉手当	432万円
保育サービス支援事業補助金	222万円
障害者等通院送迎サービス事業補助金	150万円
◎ 医療の確保	
常陸大宮済生会病院運営費負担金	872万円
救急傷病者診療委託料	770万円
保健師、看護師等修学資金貸与事業	108万円
◎ 教育文化の振興	
（仮称）大子ふれあい交流センター建設工事	6億4,900万円
相川集会所新築工事	2,159万円
英語指導助手招致事業委託量（小学校）	472万5千円
◎ その他	
えのき台住宅建設事業	4,264万4千円
学校給食費の軽減化（軽減の見込み額）	1,668万3千円
妊婦健康診査委託料及び償還払い分扶助	1,199万円
町営住宅家賃の軽減化（軽減の見込み額）	291万円
学力向上推進事業（小中学校の継続的系統的な教育推進の実践研究活動等）	115万1千円
児童生徒読書推進事業	537万9千円

審議された議案

○大子町子育て支援住宅条例の専決処分の承認を求めることについて

原案承認

○行政組織の変更に伴う関係条例の整備に関する条例

○大子町武藤文化福祉基金条例

○大子町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例

以上 原案可決

○大子町教育委員会委員定数条例(議案撤回)

○大子町個人情報保護条例の一部を改正する条例

○大子町移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

○大子町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

○大子町税条例の一部を改正する条例

○大子町産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例

○大子町立学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する

○大子町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例

○大子町国民健康保険条例の一部を改正する条例

○大子町介護保険条例の一部を改正する条例

○大子町温泉保養センター森林の温泉の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

○大子町温泉保養センター森林の温泉の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

○大子町温泉保養センター森林の温泉の指定管理者の指定について

○大子町観光物産館の指定管理者の指定について

○大子町駅前駐車場の指定管理者の指定について

○大子町高齢者センターの指定管理者の指定について

○大子町北デイサービスセンターの指定管理者の指定について

○大子町東部堆肥生産プラントの指定管理者の指定について

○平成二十一年度大子町一般会計補正予算(第四号)

○平成二十一年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算(第三号)

○平成二十一年度大子町老人保健特別会計補正予算(第一号)

○平成二十一年度大子町介護保険特別会計補正予算(第三号)

○平成二十一年度大子町浄化槽整備事業特別会計予算(第二号)

○平成二十一年度大子町水道事業会計補正予算(第一号)

○平成二十一年度大子町一般会計予算

○平成二十一年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算(第三号)

○平成二十一年度大子町老人保健特別会計補正予算(第一号)

○平成二十一年度大子町介護保険特別会計補正予算(第三号)

○平成二十一年度大子町浄化槽整備事業特別会計予算(第二号)

○平成二十一年度大子町水道事業会計補正予算(第一号)

○平成二十一年度大子町一般会計予算

○平成二十一年度大子町国民健康保険事業特別会計予算

○平成二十一年度大子町老人保健特別会計予算

○平成二十一年度大子町後期高齢者医療特別会計予算

○平成二十一年度大子町介護保険特別会計予算

○平成二十一年度大子町介護サービス事業特別会計予算

○平成二十一年度大子町浄化槽整備事業特別会計予算

○平成二十一年度大子町下水道事業特別会計予算

○平成二十一年度大子町水道事業会計予算

○平成二十一年度大子町老人保健特別会計補正予算(第一号)

○平成二十一年度大子町介護保険特別会計補正予算(第三号)

○平成二十一年度大子町浄化槽整備事業特別会計予算(第二号)

○平成二十一年度大子町水道事業会計補正予算(第一号)

○平成二十一年度大子町一般会計予算

○平成二十一年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算(第三号)

○平成二十一年度大子町老人保健特別会計補正予算(第一号)

○平成二十一年度大子町介護保険特別会計補正予算(第三号)

○平成二十一年度大子町浄化槽整備事業特別会計予算(第二号)

○平成二十一年度大子町水道事業会計補正予算(第一号)

議員提出議案第一号

○「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

人議員指名)

○茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の一般選挙について



提案する執行部



傍聴する町民

○「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

文教厚生委員会

○「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

○「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

○「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

○「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

○「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

○「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書



審議する議員

同意

当選

選任

平成二十年度一般会計補正予算 八億四千八百三万一千円

今回の補正予算は、国の平成二十年度第二次補正予算にかかわる「地域活性化生活対策臨時交付金」、「定額給付金」、「子育て応援特別手当交付金」に関連する予算を計上している。本町への生活対策臨時交付金の限度額は二億三千八百七十七万七千円で、町営住宅建設事業や防災マップの作成、かんがい排水復旧事業、環境センター・衛生センター施設整備事業、消防施設整備事業、小学校・中学校・幼稚園及び給食センター施設整備事業、水道施設整備事業への繰出金、公用車購入費、新型インフルエンザ対策費、町道安全施設設置事業、町道改良工事、広域農道案内板設置工事、大子中学校校舎・屋体耐震補強及び大規模改造設計業務委託料に充当予定。定額給付金給付事業については、百十二人の外国人を含む約二万一千四百人が該当し、総額三億四千五十万円。子育て

て応援特別手当交付金は約二百名で、七百二十万円の支出が見込まれている。補正額は、八億四千八百三万一千円の増額で、補正後の予算の総額は、歳入歳出それぞれ、九十七億四千六百六十一万八千円となった。

今回の補正は、国の補正予算にかかわる事業が主である関係、年度内完了が明らかにならない事業が多く、執行上、繰越明許費の設定が十四件になった(二十年度内に完了できない場合、二十一年度において執行し完了させること)。

文教厚生委員会

耐震化実施済学校施設視察

三月十八日、日立市立坂本小学校と、那珂川町立馬頭中学校を、教育委員、文教厚生委員、担当職員で調査研修を行いました。坂本小学校は、全校児童

八百二十名で二十六クラス。昭和四十一年建設の校舎は、IS値0.2で改築。昭和四十七年、四十九年建設校舎は大規模改造、耐震補強工事を実施しました。

総事業費十四億円(改築七億五千万円、大規模改造三億七千万円、耐震補強六千万円、その他)で、行政、学校、地域代表による検討会を発足させ、その内容を基に、設計プロポーザ



日立市立坂本小学校



町営住宅建設地(袋田)

ルで設計業者を選定しました。

新校舎は ①安心・安全 ②教育方法の多様化や進展への対応 ③環境への配慮 ④地域への開放等を主眼において改築され、これからの教育のありかたに対応した学校施設作りがされていると感じました。

馬頭中学校は、全校生徒三百九十名、十三クラス。旧馬頭町で一つに統合された中学校です。

校舎、体育館で耐震補強工事が実施されました。

総事業費約一億五千万円(校舎九千二百万円、体育館二千二百万円、その他)

仮設校舎は造らず夏休みを利用して工事が行なわれました。授業は、教室の壁をブルーシートで被って実施したり、体育は、体育館以外を利用しました。

鉄骨で補強された校舎ですが、違和感はありませんでした。

(文教厚生委員長 仲野廣)

※IS値：建物が地震による水平方向の力に対応する強さで、判定基準を0.6以上としており、それ以下は耐震補強の必要がある。

産業建設委員会

町内建設事業現場視察

四月十五日、今年度第一回目の研修として、町内建設事業現場の視察を行いました。

午前中は、浅川一ノ渡戸線、池田馬場線及び北田気小屋原線の町道改良、袋田駅前南の町営住宅建設地、栃原・滝沢線の林道新設地。

午後からは、町長も同行し、奥久慈グリーンライン(水根・持方線と北吉沢・下野宮線)、中郷・松久保線の農道開設、八溝線の林道改修、展望台周辺、県道八溝公園線(腐沢)及び碓石二号橋の橋梁架け替え現場等を視察しました。

担当課職員から費用対効果を考へての設計変更や工法等詳細な説明を受け質疑応答を行いました。

町費負担を少なくするため、補助事業や交付金事業を取り入れる工夫がされていきました。一日も早い完成が望まれます。

(産業建設委員長 金澤真人)



奥久慈グリーンライン



栃原・滝沢線



碓石2号橋

雇用をめぐる実態把握と対策は

佐藤 正弘 議員



業所に対し、町内居住者の雇用の実態を調査した。三十の事業所から回答があり、昨年四月から今年一月までに八十一名が離職した。

中学校卒業まで

医療費の無料化を

問 昨年の十二月議会で、派遣労働者や非正規労働者の解雇や中小企業をめぐる経営状況の把握と、町の対策を質問したが、その後、事態は一層深刻になっていく。

町長 は公約の中で、町内の企業との連携を強化し、雇用の維持に努めるとしている。現在、国、県においても、雇用問題を最大の課題と捉えて、緊急雇用対策を進めている。前回の議会では、実態の把握もしていないと答弁しているが、直ちに実態の把握と町の対策が急務ではないか。

答 町長

現在の雇用問題は、大変重要な課題であると憂慮している。町内外の三十八事

また、巡回労働相談も昨年の三倍になっている。

緊急雇用対策補助事業として、国から四千七百一十万円が交付される予定で、雇用の拡大、新事業の創出を図る。事業として袋田の滝整備事業など、三年間で八名、森林、環境整備事業として単年度で三十九名を雇用する。

問 新規事業に、就業前の乳児、幼児の医療費の自己負担の無料化が組み込まれて一歩前進だが、近隣町村において、中学校卒業までの無料化が打ち出されている。

子育て支援や福祉・医療の充実を掲げるなら、早急に中学校卒業までの医療費の自己負担の無料化を実現すべきではないか。

答 町長

周辺市町村では、中学校卒業までの医療費の無料化の実施ということだが、大子町は、他の市町村が実施していない医療、福祉施策を実施している。中学校卒業までの医療費の無料化については、今後の財政事情なども勘案しながら課題として検討していきたいと思っている。

大子清流高校への

給食センターの活用は

問 昨年の六月議会で、食の安全や、地産地消を推進

し、栄養バランスも優れ、親の経済的負担を少しでも

軽減させるために、余剰能力のある、町の給食センターを活用した、大子清流高校への給食の実施の検討を質問したが、その後どのように推移しているのか。

答 教育長

先月上旬に大子清流高校から、現状のままでは、不可能であるという検討結果の報告があった。給食体制を想定していない教育課

その他の質問

○第五次大子町総合計画の課題



厳しい雇用情勢

情報産業の確立を

吉成好信 議員



問 総務省総合通信局等の関係者の協力による具体的な取り組みを、フローチャートにまとめ、年度ごとの目標値を工程表に掲げたものに対し、太子町はどうなっているのか。(総務省は二〇一〇年までにゼロ地域を解消。)仮加入申し込み者三百とかだが、町は任せきりでなく、積極的に広報やお知らせで加入促進をすべきと思う。

答 また、地上波デジタルテレビ放送の完全移行対策はどうなっているのか。全受信者が即受信できるように高齢者や弱者への対応もしつかりとしてほしい。

町長 現在、商工会が中心となり仮申し込みの取りまとめ

活動をしており、目標としては六百件の仮申し込みを受けようとしているが、現在三百件ちょっとである。引き続き商工会と連携を図り

ながら積極的に受付に努めていきたい。そのためには町の広報紙等を活用した働きかけを行なっていきたい。

地上デジタル放送については、見られないということにならないよう努力をしているので、ご理解をいただきたい。



1歳6ヶ月児健康審査

公共物管理について

(法定外公共物)

問 里道や水路、農道、農業用水路などのように、法律が適用されない公共物を「法定外公共物」という。

この、法定外公共物の国からの譲与は地方分権の推進を図るため国有財産である里道や、水路のうち機能を有するこれらについては平成十七年三月末までに市町村に譲与されたが、一部管理されていない場所があり、町が立ち会って境界杭を打った外側へコンクリート壁を打ち、町有地を無断使用されている、これらも、このような事が発生す

ると思うが、町はきちんと対応をすること。

町長

太子町の公共物管理に伴う町有地の不法使用及び町の指導と町民の対応ということですが、町有地について個人または特定の団体が使用する場合には、太子町公共物管理条例の手続きによって許可等の承認を得た上で使用することになっている。現地を十分調査し、町に不利益また地域への影響がない場合は、使用を承認するということが可能である。

子育て支援は平等に

問 町営住宅入居者には税金が投入されており、その上さらに減免するとは。

借金をして、住宅を建てローンの返済をしている子育て者にも支援は平等に。

町長

民間の借家に入っている方については、何らかの対

その他の質問

○難病患者対策

便利な町民無料バスの運行とは

野内 健一 議員



問 公共交通の改善策が、四月より実施される。

周遊観光バスについては、茨交県北バスが事業主体となって、有料で運行されるとのことだが、その詳細は。

病院への移動手段として運行されていた、「みどり号」については、通院以外にも利用可能となり、今まで乗降ができなかった、浅川、矢田、池田、袋田地区の住民も利用できることになった。正に町民無料バスの誕生である。

この点について、多くの町民は大歓迎と思うが、茨交県北バス一社への事業委託については疑問が残る。町内の他のバス事業者との入札は考えなかったのか。

また、病院が実施している送迎サービスに補助金を交付することだが、現状の実施状況は。

答 町長

現在の周遊観光バスにおいては、有料の一般路線バスと無料の周遊観光バスの運行が、一部重複しているなど非効率性と利用者の不公平感といった問題があったが、今回の見直しで、始発を大子駅へ変更し、一乗車百円、一日フリー券二百円の有料制へ変更することにより、問題の一部は解消できたと思っている。

みどり号については、通院する以外や、無医地区に該当しない地区の住民は乗降車できない状況にあったが、今回の見直しでこのような制限をなくし、ほぼ町内全域で利用できる町民無料バスとして運行をしている。

また、この事業を茨交県北バスに決めたことについて



町民無料バス

ては、スクールバス活用等を含めると他の事業者が入るということは難しかった。

通院送迎サービスについて

ては、町内の三箇所の医療機関（久保田・袋田・保内郷）で実施されており、その利用者は一週間当たり延べ百九十九人程度である。

つくば市と大子町との

環境行政戦略とは

問 本町とつくば市との間でカーボンオフセット事業

（本町の所有林を、つくば市の基金で整備し、つくば

市の排出量を本町の二酸化炭素吸収量で相殺する）を主体として、連携することであるが本町のメリットは。

また、このような事業は今後、つくば市以外の自治体とも考えられるか。さらには、民間企業ともはどうか。

答 町長

つくば市とのカーボンオフセット事業については、つくば市の資金や人材を大子町の森林整備に利用でき、この事業を契機に観光面での相互協力や子どもたちの学習機会の創出や相互交流などによる、大きなメリットも期待できる。

また、つくば市以外の自治体や民間企業とのカーボンオフセット事業の可能性としては、大いに期待できると思うが、つくば市との事業をしっかりと軌道に乗せてから考えて行きたい。

その他の質問

○事務事業の見直しに関する懇談会の設置について

企画観光課へ変更する意図は

大森 勝夫 議員



が重複する業務が最近は特に目立ってきているので、一つの課として業務を遂行することが望ましいと考え

秋にはイベントが多く、観光商工課の六名では勤務体制も大変であった。課の統合により、イベントが重なる時期でも対応できる人員となる。

また、町民サービスが落ちることはなく、むしろ効率的な業務執行ができ、向上する。

「商工」の文字が課から消えるが観光商工グループ

問 大子町役場内の企画課と観光商工課を統合し「企画観光課」と変更するが、その意図は何か。企画課は町民サービスの向上を目的とした課だと思いが、統合により、観光主体の課となり、町民サービスの低下につながる危険性はないか。また、「商工」の文字が消えることにより、町内商工業者への支援がおろそかにならないか。

答 町長

課の統合により、複数の課にまたがっている事業の効率化を図ることができる。

例えば観光イベントのなかには都市住民との交流事業もあり、その分野は企画課が取り組んできた。このように企画部門と観光部門



鷲の巣山ハイキングコース

小中学校の統合案に

ともなう諸案件

は残るので対応は変わらな

問 小中学校統合案の中で

答 町長

の併設校へは、九年教育制の一貫校を想定しているのか。また、三つの中学校を大子中に統合し、一つの中学校は統合せず小学校を併設する案では、統合しない

一貫校の検討は選挙公約の一つである。大子町に最も適した教育形態はどれであるのかを関係者を交え検討していきたい。

中学校に教室増設などの費用が生ずる。中学校間の生徒数格差が広がり、近い将来変更を余儀なくされたとき、無駄な費用になってしまわないか。

統合に伴う施設改修の費用は、どのような場合でも発生する。学校が将来何に使われるかまで想定して出資を考える必要はなく、教育への投資は無駄になるものではない。

定額給付金の

町内消費促進への取組み

問 定額給付金は

二割ほどの増額が多い。つまり

総額三億四千万円ほど予定されている。町内で消費されれば経済効果は大きい。町内消費への呼びかけや、他の自治体で行われているような、地元消費への対策は検討できないか。

答 町長

ほかの自治体でおこなっているプレミアム商品券は

定額給付金の支給にあわせた売り出しセールなどの企画があれば、町としてもできる範囲で協力したい。

交流センターと商店街の活性化

仲野 廣 議員



問 交流センターの建設はJ工跡地を、大子町中心市街地の活性化を目的として進められていると考える。

建設工事は、二年継続事業の一年が過ぎようとしており、来年には町民の活用が始まる。観光、福祉、文化の拠点となる計画だが、商店街の活性化とどう

結びつけて行くのか。

答 町長

観光、文化、福祉、教育と四つの機能を持たせることで、地域あるいは世代間の交流の場として大子町の中心市街地の活性化、賑わいのある街づくりを目的としている。

ふれあい交流センターを中心としてたくさんの方が毎日出入りできる施設になるので、多くの方々が集まって来るということで中心市街地の活性化は図れる。

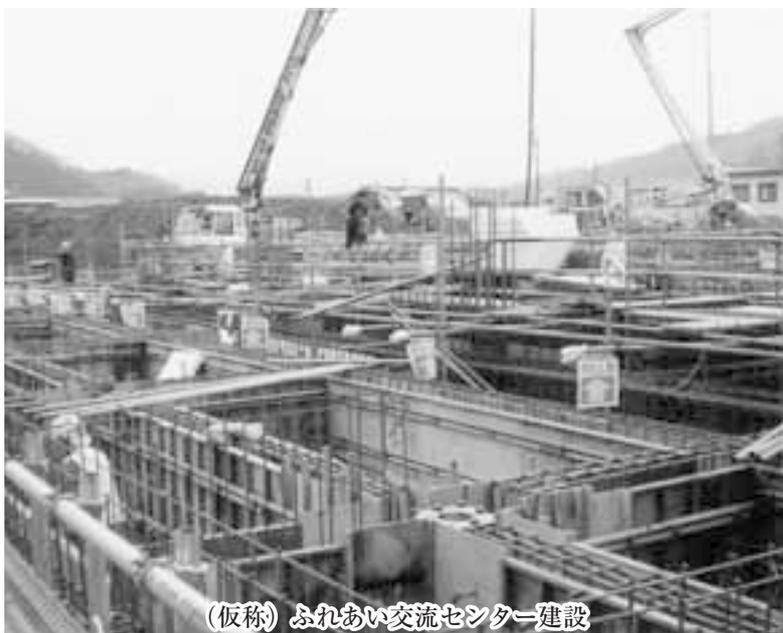
農地利用集積組織の

早期立ち上げを

問 昨年、農地の利用状況の調査が実施され、大子町の現状が明らかになったと考える。農地の有効活用には、農地の面的集積が欠かせない。それには、農地の賃貸、売買、利用権の仲介などが必要と考える。

答 町長

利用集積が見込まれる遊休農地においては、整地、客土、暗渠整備などの簡易な基盤整備を行ない、効率的な農地利用を支援することを目的とした組織を立ち上げることはできないか。



(仮称) ふれあい交流センター建設

国において農地の流動化を促進するために、農地法や農業経営基盤強化促進法などの改正が予定されているとの情報がある。

これは、農業委員会や町が直接農地の貸借を仲介する方法なども可能になる改

正ときいておるが、県などとの関係機関と連携を図りながら、効果的な事業を実施してまいりたい。

現在、農業委員会に届出のある農地の貸借契約は、二百七十七ヘクタールとなっている。

常陸大黒豆成分分析の

活用方法は

問 今年度、常陸大黒豆の

食品成分検査が筑波大学の

協力により実施される。昨年は、お茶で実施された。食品の成分表示をすることで、付加価値をつけて販売する傾向にある。

大子町で実施される食品の成分検査は、どのような意図、戦略をもっているのか。

答 町長

奥久慈茶の成分分析効能研究事業は、奥久慈茶と他の地域の茶との差別化を図ることにより、ブランド力を高めようとするもの。

常陸大黒については、他産業との差別化ということではなく、健康にいい成分、美味しい成分が含まれているかをアピールできる様に考えている。

その他の質問

- 大子町の財政について
- 企業誘致について
- 小中学校統合について
- アップルラインについて

東京理科大の経済波及効果は

藤田 稔 議員



問 東京理科大の施設改修

工事は、予定では今年三月に着工し、八月には研修施設として使用が始まることになっている。現況の進捗状況はどうか。
また、改修工事について大学側では、約五億円掛け



東京理科大研修施設

て行なうそうであるが、無償貸与の観点から見ても、地元施工業者への発注もあると思うがどうか。

答 町長

東京理科大では、三月十五日に着工して、七月中には完成し、八月から利用を

新観瀑台施設管理運営の課題と対策は

課題と対策は

開始する予定でいる。管理は町開発公社に委託する。元請は日立の業者で、下請けについては、町内の業者をできる限り使ってほしいとお願した。どの程度入れるかは分からない。

答 教育長

食材の学校給食への利用割合はどの程度か。
また、複式学級の発生状況については、昨年、学校適正配置等検討委員会において予測が示された。指定学校変更によっては、発生が早まる学校も出ると考えるが、町では把握できているのか。

問 新観瀑台オープンに伴い観瀑台利用料金、施設維持管理費共に増加したが、以前との比較はどうか。
また、観光客増加に伴い、人員の配置や観光案内、待ち時間の対応等、受け入れ態勢は万全であったのか。今後、管理運営の見直しや滝周辺の整備について考えはあるのか伺いたい。

答 町長

平成十九年度の利用料金

は、約一億七千七百万円で委託料は約二千二百万円、二十年度は、約二億三千四百百万円で、約四千七百万円となっている。
管理運営は、おおむね順調に対応できたが経営合理化を含めて更なる改善に努めて行きたい。
その他、月居ハイキングコースの整備、事務所の改修、女性専用トイレの整備をすすめて行きたい。

学校教育環境の充実に向けての考えは

学校教育環境の充実に向けての考えは

問 食品の偽装問題で、今まで以上に国内産の農作物への回帰志向が強まった。

大子町は、都市部と比較すると、食料の自給率もかなり高いと思われる。地元

その他の質問

- 環境センターについて
- AEDの設置について
- 定住人口の増加について
- 観光の振興について

後期高齢者医療広域連合 議会議員に益子英明議長



茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の任期満了

による一般選挙において、大子町議会から益子英明議員が指名推薦され当選いたしました。

任期は、平成二十一年三月二十日から平成二十三年三月十九日までの二年間です。

産業建設委員長に 金澤真人議員



不在であった、産業建設委員長に、金澤真人議員が

選ばれ、伴って同副委員長に、齋藤忠一議員が就任しました。

また、議会において、欠員の議会運営委員に、金澤真人議員が満場一致で選任されました。

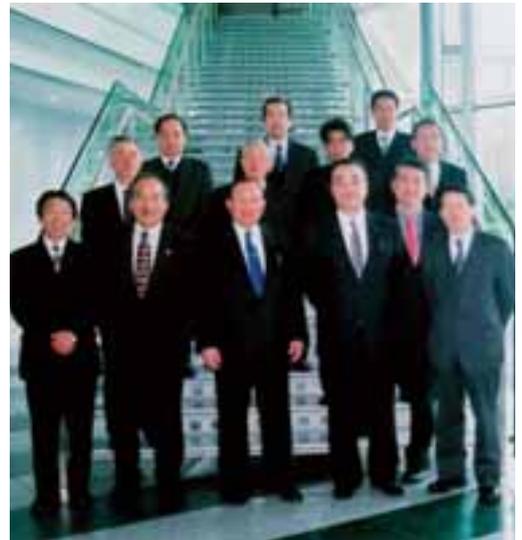
町村議員 自治研究会に参加

二月二十五日、県市町村会館に於いて、町村議員による自治研究会が開催され十三名が参加しました。

最初に、「現代に生かす戦国武将の健康力」につい

て、医学ジャーナリストの植田美津江氏から、戦国武将の寿命に関して、食生活を交えて講座を受けました。

続いて、毎日新聞社論説



県市町村会館にて

委員の与良正男氏による「混迷する政治のゆくえ」の講演がありました。先の読めない政局のお話しを聞

き、議員各々が何を学ばれたか、今後の議員活動に生かされることと思います。

佐川議員が茨城県 町村議会議長会から表彰

平成二十一年二月十七日、県市町村会館に於いて、佐川利夫議員が茨城県町村議会議長会から自治功

労者として表彰を受けました。

議員在職十二年以上、地方自治の進展に大きな役割を果たしていることを高く評価されました。

席上、海老根瞳前議員（在職二十年）、木澤源一郎前議員並びに、佐藤信勝前議員（在職十二年）に於かれましても、自治功労者表彰がありました。



自治功労者表彰式

教育委員に 神賀美紀氏

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、委員の任命に当たっては保護者が含まれるようにしなければならぬとされたことを踏まえて、今回、大子町教育委員会委員の笠井敏子氏が任期満了により退任するに当たり、後任として神賀美紀氏・五〇歳（頃藤五一―一五）を任命することに同意しました。

任期は平成二十一年三月二十一日から四年間です。



大子町議会 広報委員会

- 委員長 佐川 利夫
- 副委員長 藤田 友晴
- 委員 齋藤 忠一
- 委員 佐藤 正弘
- 委員 藤田 稔
- 委員 益子 英明

あとがき

町議会議員となり一年が経過しました。

小中学校の入学式、卒業式、運動会や地域のお祭りなどに参加する機会を得ました。子どもたちの目は輝き、元気に活動していました。

少子高齢化は、誰の目にも明らかで、学校教育、福祉、地域伝統行事の継承等課題が山積しています。

また、都市と地方の格差も益々広がっています。私たちの暮らしは、国・県の政策が大きく影響します。町民の福祉の向上や暮らしを守るためには、主人公である町民の皆さんの声を町政に反映させ、よりひらかれた議会を目指す必要性を実感しています。

（広報委員 佐藤正弘）

今回の表紙

収穫を楽しみに畑仕事に精を出す夫婦です。

（益子英明議員撮影）